

経済部文化観光局観光課

1 観光振興対策

(1) 米子市観光協会事業活動に対する助成

米子市の観光振興を図るため、米子市観光協会の事業活動への助成を行うとともに、その実施について協力した。

ア 重点事業

(ア) 皆生温泉の魅力づくり事業及び誘客事業

毎回1,000名の参加があり、39回を迎える全日本トライアスロン皆生大会事業を活用し、皆生温泉への誘客を図る

a 「トライアスロン合宿 in KAIKE(2泊3日)」の実施

期 間:令和元年6月21日～23日

内 容:トライアスロン競技普及と、聖地としての皆生の名を一層広め地域振興を図るため、NPO法人皆生スポーツアカデミー小原工氏、チームエフォーツ小原千絵氏を招聘し、最終日には「中海オープンウォータースイム2019大会」に参加する特別合宿として実施

参加者:3人

b オリンピアン巡回指導事業(鳥取県/トライアスロン教室)の実施

期 日:令和元年11月3日

場 所:皆生プレイパーク、米子市皆生市民プール等

内 容:県内外の小中学生を対象としたトライアスロン(スイム・バイク・ラン)のふれあい体験会として、非営利活動法人皆生スポーツアカデミー、米子市経済部文化観光局スポーツ振興課等と協力し実施

参加者:33人

(イ) 米子城跡ライトアップと連携し「光・ライトアップ」を柱に皆生温泉地内の賑わいを目指す

a 皆生温泉ライトアップー皆生温泉・四条通り 紋様灯籠ー(春版)」の実施

期 間:平成31年4月26日～令和元年5月6日(11日間) 日没～午後11時

場 所:皆生温泉・四条通り

内 容:昨年実施した皆生温泉紋様灯籠をGW期間中に実施し、皆生温泉の地域ブランド力の向上及び魅力アップに向け、皆生温泉・四条通りを紋様灯籠の幻想的で柔らかな明かりで灯すライトアップを実施

b 「皆生温泉ライトアップー皆生温泉紋様灯籠と灯りの池ー(夏版)」の実施

期 間:令和元年7月1日～8月31日(2ヵ月間) 日没～午後10時

場 所:皆生温泉・四条通り、皆生温泉海浜公園

内 容:GWに実施した皆生温泉・四条通り紋様灯籠を拡充し、皆生温泉海浜公園噴水(水中)に大小球体のLEDボールを設置し実施

c CATCH the STAR星取県「プラネタリウムin皆生温泉」

期 間:令和元年8月9日～18日(10日間) 午後7時～10時

場 所:米子市観光センター2F 多目的ホール

内 容:夜の街歩きの相乗効果を高める為、夏休みちびっこ広場、皆生温泉紋様灯籠ライトアップの期間に合わせ、昨年好評であった室内型ドームのプラネタリウムを米子商工会議所、皆生温泉旅館組合と協力して実施

来場者:734人

(ウ) 米子城ライトアップ2019の共同広報

米子城魅せる！プロジェクト実行委員会が主催する米子城跡ライトアップをダラズFM、米子観光ナビHP、SNS、新聞媒体等を利用した広報宣伝を実施

a 米子城跡ライトアップ2019春の陣(天守&四重櫓)

期 間:平成31年4月26日～令和元年5月6日

場 所:米子城跡

内 容:米子城跡のライトアップと合わせ、期間中、城下町米子観光ガイドによる「米子城跡ライトアップツアー
(予 約:参加者1人1,000円)を実施

b 米子城跡ライトアップ2019夏の陣

期 間:令和元年8月7日～8月25日

場 所:米子城跡

内 容:米子城跡のライトアップと合わせ、期間中、城下町米子下町ガイドによる「米子城跡ライトアップ&十
八万石の夜景ツアー(要予約:参加者無料)を実施

(エ) 皆生「UMICOTA(うみこた)」イベントの実施

期 日:令和2年2月29日

場 所:皆生海浜公園・隣接海岸

内 容:令和2年3月の毎週金・土曜日(計8日間)の期間中、砂浜に設置したテント内のこたつで海鮮鍋
を提供する実証実験イベントのイベントへ参加

参加者:約40人

イ 情報発信事業

(ア) 報道機関等を利用した観光宣伝

a テレビ・ラジオ番組に出演し、皆生温泉や各種イベント、特産品等の紹介を行った。

b 雑誌・新聞の取材に対応した。

(イ) ホームページによる情報発信

観光協会のホームページ「米子観光ナビ」や公式Facebook、Instagramにおいて、米子市の観光PR
を行った。

「米子観光ナビ」閲覧数:595,604(平成31年1月～令和元年12月)

公式Facebookページフォロワー数:4,991(令和2年3月現在)

公式Instagramフォロワー数:1,833(令和2年3月現在)

ウ 各種イベントの開催・

観光客誘致と地域活性化を図るため、イベントの実施または開催協力を行った。

(ア) 米子桜まつり	期間	3月29日～4月7日
(イ) 皆生・大山SEA TO SUMMIT	期日	5月26日
(ウ) 再生神話の郷マラニック	期日	6月2日
(エ) 中海オープンウォータースイム	期日	6月23日
(オ) 皆生温泉海水浴場を開設	期間	7月7日～8月25日
(カ) 皆生温泉マリンアスレチック海皆-KAI・KAI-	期間	7月7日～9月1日
(キ) 全日本トライアスロン皆生大会	期日	7月14日
(ク) CATCH the STAR星取県「プラネタリウムin皆生温泉」	期間	8月9日～8月18日
(ケ) サイクルカーニバル in YODOE	期日	9月1日

- (㉓) 米子市民大茶会 期日 10月5日
 (㉔) 農と食のフェスタinせいぶ 期間 10月19日～10月20日
 (㉕) よなご歩き愛ですウォーキング 期日 10月20日

エ 観光商品造成事業

「大人達の社会見学」

期間：平成31年4月～令和2年3月

見学施設数：16施設

利用数：130件/3, 190人（前年度120件/2, 115人）

オ 指導育成・研修事業

優良従業員の表彰

期日 5月20日

表彰者 観光功労者1人 優良従業員20年勤続表彰11人 10年勤続表彰15人

カ 首都圏対策事業

米子観光情報説明会・意見交換会の開催

期日：5月24～25日

場所：蕎麦と酒 いなたや丸の内パレスビル店(東京都千代田区丸の内)

内容：観光情報説明会では皆生温泉マリンアスレチック海皆-KAI・KAI-などの注目事業、鳥取県の観光施策（鳥取西道路開通等）及び当地の近況を紹介した。

参加者：27人

(2) 観光案内業務

米子駅構内に米子市国際観光案内所を設置し、観光案内業務を行った。

◇年間利用状況

宿泊案内	観光案内	交通案内	地理案内	その他	合計
407件	6,303件	7,960件	774件	6,298件	21,742件

(3) コンベンションの誘致

本市へのコンベンション誘致を促進するため、(財)とっとりコンベンションビューローに対し、運営費、大会開催支援補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援するとともにその活用を図った。

(大会開催支援補助金交付実績)

件数	参加者数	延宿泊者数	交付額 (米子市負担額)
24件	6,387人	8,315人	7,650,397円 (3,825,198円)

(4) 観光関連団体との連携

日本観光振興協会、山陰観光連盟、鳥取県観光連盟、中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会等の観光関連団体との連携を密にし、本市観光振興を図った。

(5) 郷土芸能の保存、育成

米子がいな太鼓、米子がいな万灯の保存、育成を図った。

(6) 大山の美化、遭難防止活動等への協力

大山国立公園協会、大山の美化を推進する会、大山遭難防止協会等を通じて、大山の美化、自然保護等

と遭難防止活動に協力した。

(7) 皆生温泉にぎわい創出事業

皆生温泉旅館組合等と連携し、中京、関西、山陽、四国方面での観光宣伝事業を行うとともに、旅行雑誌、新聞などへのPR広告の掲載を行った。

また、皆生温泉PRチラシやイベント特集チラシなど宣伝ツールを作製するとともに、各旅館のポータルサイトの役割を担う旅館組合の公式ホームページや、SNS等を活用し、皆生温泉の情報発信に努めた。

ア インバウンド事業の推進

来訪者が増えている外国人観光客をさらに拡大するため、受入れ態勢の整備充実に努めた。

(ア) 台北温泉まつりへの参加

(イ) 皆生温泉開発100周年記念ロゴマークの作製

皆生温泉開発100周年を記念し、ロゴマークを全国に公募することで、皆生温泉の認知度向上に貢献した。

イ 街並み活性化事業の推進

皆生温泉の活性化策として、引き続き、既存の土産物店の「皆生横丁きないや」をはじめ、文化施設の「素鳳ふるさと館」、足湯施設の「潮風の足湯」、「花風の足湯」等の散策スポットを活用し、街歩きが楽しめる温泉街の創出を推進した。

ウ にぎわいイベント等の実施

皆生温泉 夏休みちびっこ広場の実施（7月19日～8月25日）

夏休みの子ども向けのイベントとして、期間中毎日、午後8時から9時まで皆生温泉海水浴場特設ステージで開催し、ミニ打ち上げ花火や当てくじなどでファミリー層の集客を図った。

エ 周辺観光地タイアップ事業

とっとり花回廊《冬のイルミネーション》見学プランの実施、金田川ほたるバスの運行、金持神社を核とした日野郡周遊促進プランの実施、足立美術館直行バスの運行等の周辺観光地とのタイアップ事業を推進し、皆生温泉への誘客を促進した。

(8) 皆生温泉圏域観光拠点事業

米子市観光センター内にツアーデスク機能を備えた「皆生ツアーステーション」を設置し、県西部エリア全域のアクティビティの発掘・取扱い、体験メニューの造成、ホームページ等による情報発信を行ったほか、個人・旅行会社などに向けた広報活動の実施や、県観光連盟主催の情報説明会に参加し、県外へのPRを実施した。（皆生温泉旅館組合に対する補助事業）

(9) 皆生温泉街歩き魅力増進事業

ア 皆生温泉ライトアップ

内容：大山開山1300年祭において、圏域内で実施された取組みにより高まった機運を承継し、「大山山麓のお宿」としての皆生温泉らしさの造成及び魅力アップを図り、もって大山山麓地域の魅力を観光客及び地元住民に体験してもらうことで、大山開山1300年以降の盛り上げの継続と皆生温泉の魅力向上に資する事業を実施した（皆生温泉四条通りを中心に紋様灯籠を配置したライトアップ企画を実施したもの。）。

期間：

<春季> 4月26日～5月6日

＜夏季＞7月1日～8月31日

イ 皆生温泉まち歩き活性化実証実験イベント「KAIKE UMICOTA（カイケ ウミコタ）」

内容：皆生温泉における閑散期対策の取組みの一環として、皆生海岸のロケーションを活かし、キャンプ・グランピングといったアウトドア要素を取り入れたフォトジェニックな食体験を市民・観光客へ提供するもの。開催エリアを2つに分け、ビーチサイト（砂浜側）では、透明ドームテントを配置し、その中で時間制の食事（鍋プラン）提供を行い、パークサイト（海浜公園側）では、公園内にテントを設置し、予め調理した飲食サービスを提供した。

期間：2月29日（プレオープン（関係者お披露目））

※当初日程では、3月6日～28日の間の毎週金・土曜日に開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から本イベントを中止とした。

場所：皆生海浜公園北側とその隣接海岸

(10) 広域観光の推進

ア 伯耆国「大山開山1300年祭」の取り組み

平成30年、鳥取県西部のランドマークである名峰「大山」が開山1300年祭を迎え、大山山麓地域の自治体、観光、経済団体等官民が一体となり、一大ムーブメント伯耆国「大山開山1300年祭」を展開した。平成31年4月には、伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会の事務局が米子市と県の共管事務局となり、平成31年を1300年祭の「結願（締めくくり）」の年と位置付け、各市町村や県、民間との連携を図りながら、1300年祭を通じて見出された「歴史・文化」、「刀剣・たたら」、「自然・アウトドア」、「ナイトタイムエコノミー」、「食」など多様な地域の資源や魅力を活用し、大山圏域の魅力を発信し観光誘客に繋げていく取組を実施した。

イ 鳥取県西部7市町村と鳥取県西部総合事務所で構成される「大山山麓観光推進協議会」を母体に、平成31年4月、日南町と日野町が正会員として加入し、「大山山麓・日野川流域観光推進協議会」と名を改め、鳥取県西部の全市町村が加入する協議会が設立された。新協議会においては、米子市が圏域におけるリーダーシップを発揮し、広域観光を牽引するべく、市と県との共管事務局を設置し、1300年祭を通じて醸成された圏域の盛り上がりや連携の機運を切れ目なく継続し、圏域一体・官民一体の観光振興策を展開した。

構成自治体 米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、江府町、鳥取県西部総合事務所、日野町、日南町

実施事業 〈一般会計事業〉

情報発信事業、圏域連携・商品づくり事業、地域啓発事業

〈地方創生推進部会事業〉

パワードby大山DMO設立基盤構築事業

（大山パワーブランド化推進事業、広域観光連携体制整備事業、大山エコトラックスシステム構築事業、西部圏域版周遊バスと情報提供アプリによる周遊促進事業）

ウ 「一般社団法人 中海・宍道湖・大山圏域観光局」の設立（米子・境港・安来・松江・出雲）

平成31年2月に中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会を発展的に解消し、事業を継承した「中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構」が、強くスピード感を持って地域や関係団体と一体となった事業展開を行い、観光地域づくりを強力に推進していくため、法人化に移行し、「一般社団法人 中海・宍道湖・大山圏域観光局」の設立が承認された。

「一般社団法人 中海・宍道湖・大山圏域観光局」と連携し、境港寄港大型クルーズ客船受け入れ事

業として、岸壁において観光案内及びおもてなしイベントを実施したほか、圏域のインバウンド対策や国内での観光プロモーションなどに取り組んだ。

エ 日本遺産の取り組み

大山を中心とした周辺地域が「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」のタイトルで認定された日本遺産の中で米子市の構成文化財は尾高道、旧加茂川の地蔵となっており、認定市町等で構成される「日本遺産大山山麓魅力発信推進協議会」に参画している。本協議会では、今年度、だいせん地蔵工作体験（粘土で自分だけのお地蔵さまを作る体験）を軸とした日本遺産のストーリーを体感できるインバウンド向けツアーの造成や、英語、中国語、韓国語でのだいせん地蔵プログラムパンフレットの作成等に取り組んだ。

(11) 中海・錦海かわまちづくり計画の推進

国・県・市の3者協調事業である「中海・錦海かわまちづくり計画」について、令和5年度末整備完了に向けた協議を進めた。

(12) 国際定期便の利用促進

米子鬼太郎空港と海外を結ぶ国際定期便の米子ソウル便、米子香港便及び米子上海便の3路線について「国際定期便利用促進協議会」を通じ、両路線の利用促進活動を行った。

(13) ヨナゴがい〜な！秋の収穫祭&文化祭

「農と食のフェスタ（10/19, 20）」と「米子映画事変（11/8, 9, 10）」を核に、「市民大茶会（10/5）」、「米子城フェスタ（10/5）」、「よなご歩き愛です ハロウィンウォーク（10/20）」、「地ビールフェスタin米子（10/25）」など秋のイベントを「ヨナゴワンダー！」として一体的に開催し、本市への誘客とにぎわい創出を図った。

(14) 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊制度を活用し、2名の隊員による活動を行った。1名は、城下町エリアを中心に活動を行い、地域の人々と連携しながら、加茂川沿いでの淀江和傘を活用したライトアップイベント「白壁土蔵ライトアップ」や、加茂川広場でのイベント「ナイトシアターin城下町 ―ReLIGHT（リライト）！加茂川―」を開催した。もう1名は、FacebookやTikTok、中国版TikTok「抖音」による国内外への情報発信を行ったほか、吉本興業とJTBが実施した鳥取県西部を周遊するツアー（開運ずもトラベル）実施への協力を行うなど、鳥取県西部圏域の広域での観光振興を図った。

(15) 山陰デスティネーションキャンペーン

アフターキャンペーンとして、「Nostalgic San'in 忘れがたき山陰」をキャッチフレーズに、JRと共同でアフターキャンペーン（観光地や物産品、交通アクセス、イベント、特典など）と盛り込んだイベントガイドブックの制作をはじめとする、観光キャンペーンを実施した。

(16) 米子市ロゴマーク・イメージキャラクターの活用

ア イベント等への貸出

ヨネギーズの着ぐるみを各種イベントに56回貸し出した。

イ 印刷物・キャラクターグッズとしての活用

米子市が発行する各種印刷物や職員の名刺・名札に活用されているほか、市内事業者、市民などに合計79回活用された。

ウ その他の活用

(ア) 昨年に引き続き、職員の福利厚生とヨネギーズの知名度アップを目的に作成していた通称「ヨネギーズポロシャツ」を福祉の店おおぞらから販売されるように調整を行った。

(イ) ヨネギーズの知名度アップなどを目的にレインボンチョ・マスキングテープを作成した。

2 観光施設の整備及び管理

(1) 米子市観光センターの管理運営業務

ア 山陰観光の拠点として、昭和58年4月から利用開始。平成18年度から指定管理者制度を導入し、引き続き皆生温泉旅館組合に管理運営業務を委託している。皆生温泉の観光案内、旅館のあつ旋、各種集会室の使用許可、バス発着場など観光客及び地域住民の幅広い利用を図った。

イ 年間利用状況（テナント、広告看板、バス停利用を除く）

(ア) 観光案内 14,689件、48,460人

(イ) 施設利用

区分	多目的ホール	会議室	料理研修室	和室	第1展示ホール	第2展示ホール	第3展示ホール	合計
件数	232件	687件	13件	125件	366件	0件	366件	1,789件
人員	8,140人	6,930人	170人	1,530人	0人	0人	1,125人	17,895人

ウ 米子市観光センター指定管理委託先 皆生温泉旅館組合
 指定管理委託料 2,503,000円

(2) 米子コンベンションセンター管理運営業務

ア 米子コンベンションセンター（米子国際会議場を含む）を鳥取県と米子市が共同で管理運営を行い、利用者への応接や利便性の向上に努めた。

イ 米子国際会議場指定管理委託先 公益財団法人とっとりコンベンションビューロー
 指定管理委託料 61,982,522円

[米子国際会議場利用状況]

催し物件数	集 会			展 示 会	音楽・芸能	その他	計
	大会 式典	講演会 説明会	会 議	展示会 見本市	8件	1件	111件
	13件	75件	7件	7件			

利用日数 199日 稼働率 66.1%

(3) 観光案内看板設置事業

米子商工会議所前（1箇所）とANAクラウンプラザホテル前（1箇所）に日英表記の観光案内看板を新設した。

事業費 1,892,000円